



3月のほけんだより

令和5年度
No.4
いぬかいこども園

やわらかい日差しを浴びて木の葉が少しずつふくらみ、つくしがひょっこりと頭を出します。土の中で冬ごもりしていた虫たちが地上へ出てくる時期です。伸び伸びと成長する草花のように、進級を迎える子どもたちも、お互いの優しさの中でぐんぐん育ててほしいですね。今年度も残すところあと1か月となりました。子どもたちひとりひとりの表情、行動に、あらためて大きな成長を感じます。最後のひと月たいせつに過ごしましょう。



後期歯科検診の様子です。緊張しながら順番を待っています。虫歯や虫歯になりかけの人は、歯医者さんに行きましょう。定期的に歯医者さんで検診を行いましょう。



口を大きく開けてしっかりみてもらってます



泣かないよ

おともだちの様子が気になるね

～手洗いの様子～
ウイルスを洗い流すよ！



親子で感謝を伝えあおう

「よくできたね」と褒めるのではない。「ありがとう、助かったよ」と感謝を伝えるのだ。感謝される喜びを体験すれば、自ら進んで貢献をくり返すだろう。

オーストラリアの心理学者のアルフレッド・アドラーの言葉です。お子さんにとって、褒められるのはうれしい。でも、同じ目線に立って感謝を伝えてもらえる「ありがとう」と言われるほど、人にも優しくなれるのではないのでしょうか。3月9日は「サンキューの日」おうちでも実践してみてくださいね。



編集後記：早いものでもう年度末の3月になりました。今年度は、毎月発行していたほけんだよりを4回の発行とさせていただきます。ほけんだより作成に要していた時間は、こどもたちの体調不良時の際など少しでも多く丁寧に様子を観る回数を増やす時間へと変更させていただきました。大きな怪我も無く今年度も過ごせてよかったと思います。来年度も元気にまた成長を重ねていてほしいですね。